



# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 93  
2019. 10月号  
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・フェイスブック・ホームページもご覧ください>



## <季節の写真>

秋の味覚の王様「マツタケ」  
今年は、どうなるか気になります。



## 公契約、中小企業・小規模企業振興条例、産業政策を学ぶ（長野市）

◆長野市で9月7日から2日間にわたって開催された第21回中小商工業全国交流・研究集会に初めて参加した。（※左下の写真）全国から500人の参加者があり、中小商工業者の運動の成果が報告され、学習と交流を深めた。◆消費税10%への増税については、単に2%引き上げるだけでなく、複数税率とインボイス制度という「劇薬」が盛り込まれたおり、深刻な景気悪化、重い事務負担と大混乱、免税業者の廃業の危機という、「けた違い」の悪影響となる。◆2日目の分科会では「小企業の活躍を促す自治体施策」に参加した。吉田敬一氏（駒澤大学教授）を助言者に、渋谷区の公契約条例について、横浜市での小規模企業（事業者）支援施策、愛知県の犬山市など5市町における中小企業・小規模企業振興条例の取り組み、新潟市の産業政策の検討結果、群馬県渋川市での中小企業振興基本条例制度の取り組みが報告され、意見交換した。（裏面に関連記事）◆日本共産党上田市議団は、11月12日に市長に対して「来年度の予算要望書」を提出するが今回学んだことも参考に反映させたい。◆9月21日、念願の<sup>まりこ</sup>椀子ワイナリーがオープンした。2003年にワイン用ブドウを植樹してから16年目のことである。◆これからも、上田地域のにぎわいの拠点、「発酵のまち上田」をささえる産業、遊休荒廃地解消のモデルケース、異業種連携をすすめる事業などさまざま角度から期待される。◆長瀬中央自治会・自主防災組織に宝くじ助成金を活用した防災用資器材がこのたび納品された。8月、指定避難場所である長瀬市民センター駐車場、耐震性防火水槽も設置された。防災・減災対策が一步前進した。（よしお）

## 公共施設（建築物396）の整備・再編には、市民の皆さんのご理解が大前提

### <九月議会における久保田由夫議員の一般質問から>

【質問】総務省が示す統一的基準にもとづく固定資産台帳は、県内77市町村のうち22市町村で公表しているが、上田市の対応は。

【答弁】市の財政状況をより正しくご理解いただくためにも、固定資産台帳の情報を公開することは有意義であると考えており、今後、固定資産台帳の公表を前提とし、公表方法を研究する。

【質問】上田市が作成する財務諸表を工夫し、市民にわかりやすいものにすべきだ。

【答弁】28年度決算からは団体間での比較が可能となった。地方公会計の整備は、財政の透明性を高め、説明責任をより適切に果たすなどといった観点から推進されている。わかりやすい財政状況の公表に努める。

【質問】監査意見書にある公共施設の個別施設計画の目的と進捗状況はどうか。

【答弁】上田市市営住宅等長寿命化計画、上田市スポーツ施設整備計画、上田市保育施設整備計画を策定した。また橋梁や上下水道施設といったインフラ系の施設も策定済み。個別施設計画に基づき実施した事業は、神川地域の複合施設やちびっこプールの集約事業、上田市庁舎改修・改築事業や武石地域総合センター整備事業を実施しており、今後は丸子統合保育園整備事業を予定している。

【質問】上田市公共施設白書と公共施設マネジメント基本方針によると、公共施設の更新、改修に係る将来費用の推計では、建築物だけでも396施設あり、今後40年間の更新、改修に係る費用は年間平均

でこれまでの1.5倍の予算が必要です。（※過去5年間の平均約49.7億円から今後は約72.6億円が必要となる）公共施設の整備、再編には、何よりも市民の皆さんのご理解が大前提であります。それには、各論に入る前に総論そのものが理解される必要がある。上田市の財政上の課題について、一層の情報公開、市民参加、職員研修などが必要だと考えるが市長の見解は。

【答弁】今後の地方財政においては本格的な人口減少社会を迎えまして、生産年齢人口の減少などに伴う税収減や少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増大に伴い、現状の公共施設を維持管理しながら、これまでと同様の市民サービスの提供を継続することが一層困難になることが予想されます。また、施設の廃止や譲渡、統廃合には、市民の皆様のご理解やご協力、譲渡先との調整等、さまざまな課題もあり、多くの時間と労力が必要となります。

施設を管理する職員はもちろんのこと、施設を利用される市民の皆様にも財政上の課題についてご理解をいただくことは大変重要です。個別施設計画を策定する段階では、施設利用団体や地元の皆様と情報を共有し、丁寧に説明し、対話を進め、ご理解いただくよう誠心誠意努めていくことが必要です。今後もわかりやすい行政情報の発信、市民の皆様へ財政上の課題などご理解いただけますよう積極的に情報公開をしていきます。

久保田由夫のブログは、9月からヤフーブログからアメーバブログに変更しましたので、引き続きよろしくお願ひします。